



外観

## 様々な企業をサポートし 地域社会を照らす

白倉陽介税理士事務所

所長 白倉陽介 さん

今月の夢追い人は白倉陽介税理士事務所の所長、白倉陽介さん。誠実で近づきやすい雰囲気を持った方だ。仕事に励む傍ら、スポーツにも大変熱心。二〇〇九年には、マスターズ水泳福岡大会バタフライ部門で銅メダルを獲得。地元テニスリーグでも二回優勝している。白倉さんに、事務所の現況や特長、今後の目標などについてインタビューしてみた。

白倉陽介税理士事務所は、

歴史のある事務所。昭和二十年代に叔父の白倉利治税理士が大川で開業して以来現在まで続いている。当時の大川には他に税理士事務所がなかったため、ほとんどの企業が顧問先となっていたそうだ。

事務所の強みは、開業以来長年月に渡るノウハウの蓄積。「零細企業から三〇〇人以上の従業員を持つ企業まで、数多くサポートしてきた実績があります。それもいろいろな背景の会社です。それで、依





スタッフの皆さん

頼られる企業タイプによって『面食らう』ことはないですね。それに会社が方向転換するとしても、それに応じた適切な指導を行う自信があります。」と白倉さんは話す。

八名のスタッフも経験豊か。過半数が大手商社や大企業の出身。この点、多くの税理士・会計事務所とは異なっている。一般に大学や専門学校で資格を取得した後、税理・会計事

務所に入所してくるスタッフが多い。「ビジネス社会を経験していることで、感情移入しながら企業サイドに立った細かい指導ができる」そうだ。二〇一四年十一月には横尾治税理士事務所から業務とスタッフを引継いだ。「横尾税理士事務所は所得税法に非常に強い事務所でした。そのノウハウを持つスタッフが新たに加わったのです。」事務所としての力量が高まっている。パソコン会計指導も行っている。パソコン会計ソフトを企業の状況に合わせてカスタマイズし、「導入処理」「日常処理」「月次処理」「試算表・総勘定元帳印刷まで指導する。お勧めのソフトは何だろうか。「初心者の方には『経理上手くん』を勧めていますね。このソフトは白倉陽介税理士事務所でも使っているのです、適切に分かりやすく指導できるのです。また『弥生会計』もサポートできます。その場合は弥生会計認定インストラクターの資格をもつスタッフが



お勧めのソフト『経理上手くん』シリーズ

上手くんα 検索

対応します。」家庭教師のように親切に教えてくれる。その詳細は白倉陽介税理士事務所のホームページに記載されている。

最近、大川に対する郷土愛が高まっているそうだ。その契機は今年四月に九州北部税理士会の大川支部長に就任したこと。どうということだろうか。「法人会や間税会など、

いろいろな会合に来賓として呼ばれるようになりました。お酒を介しての、人と人との胸襟を開いたつきあいが出来るようになったのです。」と白倉さんは話す。「私は大川生まれ、大川育ちですが、正直地元に対する愛着は乏しかったと思います。しかし、経営者の方々の濃密なおつきあいが出来るようになって

から、皆さん、そして郷土の魅力に気づくようになったのです。このような機会が与えられたことにとても感謝しています。」

好きな格言は「一隅を照らす」。これは一人一人が片隅を照らすことができれば、全体が明るくなるという意味だそうだ。「税理士の仕事は、難しい税法を分かりやすく皆さんに『通訳』することだと思っています。目立たない仕事ですが、その分野で頑張ること、家族、スタッフ、ひいては地域社会を『照らす』ことができると思っています。この与えられた仕事を一所懸命に果たしていきたいですね。」と夢を語る。

スポーツマンで、精力的に仕事に取り組み白倉さんにエールを送りたい。



2009年マスターズ水泳福岡大会  
バタフライ部門で銅メダルを獲得